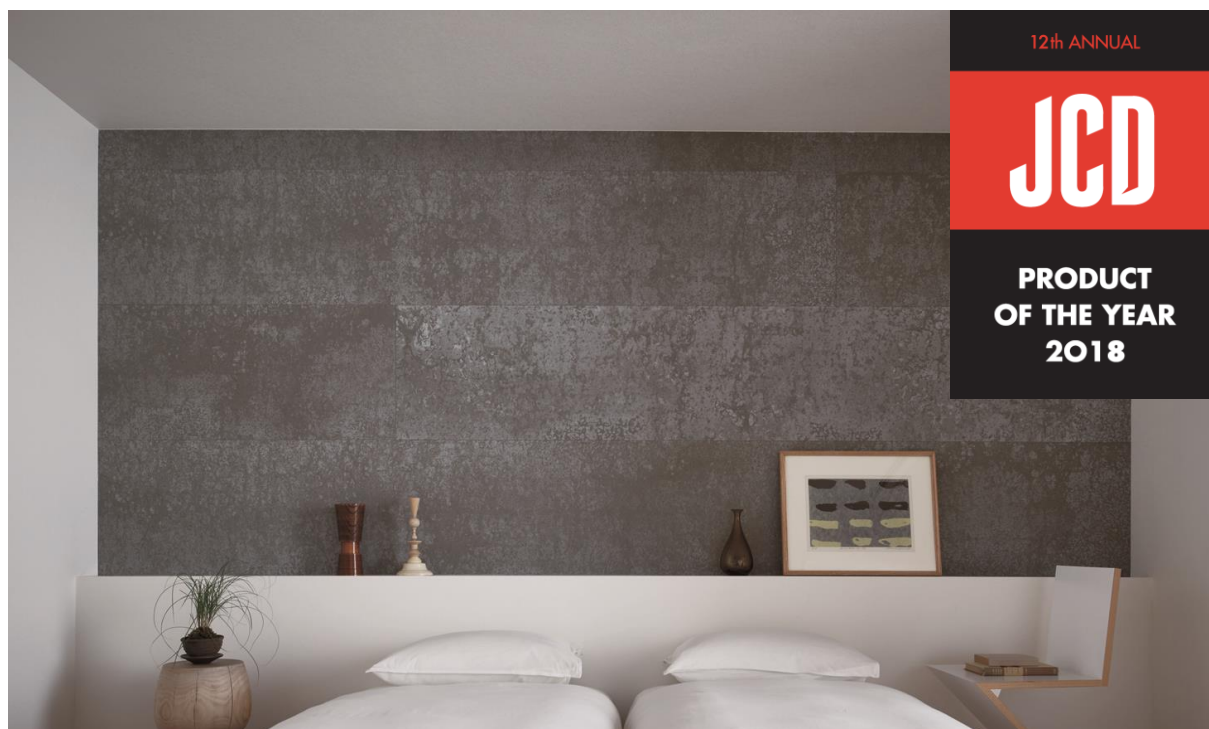


2018年6月7日

リサイクル内装ボード「SOLIDO typeF coffee」が
JCD プロダクトオブザイヤー2018 グランプリ受賞



SOLIDO typeF coffee

このたび、リサイクル内装ボード「SOLIDO typeF coffee」が日本商環境デザイン協会(JCD)主催のプロダクトオブザイヤー2018でグランプリを受賞しました。

プロダクトオブザイヤー2018とは、JCDの賛助会員より2018年1月31日現在で販売されている一押しの製品を募集し、正会員である商環境デザイナーの方々からの上位3点の投票でグランプリ、準グランプリが選定されるものです。今年度で12回目のプロダクトオブザイヤー2018では、20社35点の製品エントリーがあり、正会員164人からの投票でグランプリが決定しました。

◆プロダクトオブザイヤー2018結果

グランプリ(1位) <内装材>リサイクル内装ボード「SOLIDO typeF coffee」/ケイミュー株式会社
準グランプリ(2位) 洗面水栓ZLシリーズ TLP02305J / TOTO株式会社
準グランプリ(3位) ネオレストNX CS900B / TOTO株式会社

◆グランプリ JCD 長谷川前理事長様審査評

新しい素材の力が誕生した。

今の時代の無垢材はリサイクルと人の手によるハイブリッド。

決して主張せず主役の脇をしっかりと固める自然の風合い。

本物は色あせせず、他にはない確かな味わいを醸し出す。



◆プロダクトオブザイヤー2018表彰式

2018年5月25日カナダ大使館にて行われたJCD2018年度総会において表彰式があり、JCD窪田理事長より、グランプリ、準グランプリに盾が授与されました。

「SOLIDO typeF coffee」は、塗装による着色を行わず、セメントの素地そのまま自然な表情を魅せる、全く新しいコンセプトの内装材です。セメントから湧き出す白華をあえて抑えず、一枚一枚異なる表情に仕上げています。

原料には、火力発電所で発生する石炭灰のほか、コーヒーショップから出る使用済み紙カップやコーヒー豆かすなど多岐に渡る身近な廃棄物を配合し、原料に占める再生材料比率が約60%を実現しています。

セメント素地を露出させ、そこにコーヒーの豆かすがあえて見える状態にすることで、無機質なセメント素地にオーガニックな色合いと風合いが加わり、温かみのある室内空間を演出します。

この内装ボードは、2016年度のグッドデザイン賞のグッドデザイン・ベスト100にも選定されています。

SOLIDO typeF coffeeに続くSOLIDOシリーズの第二弾として、2018年4月には、SOLIDO typeM LAP/FLATを発売しました。今後も素材を追求するSOLIDOにご期待ください。

品名	SOLIDO typeF coffee
希望小売価格	6,300円/枚 (税抜き)
商品サイズ	15×455×3030(mm)

※価格は製品本体のメーカー希望小売価格(税抜)です。工事費などは含まれておりません。

◆JCDプロダクトオブザイヤー2018

http://www.jcd.or.jp/productoftheyear_2018/index.html

◆SOLIDO

<http://www.kmew.co.jp/shouhin/solido/>